

活動報告書

報告者：青山 和史

行事種別	研究会	行事番号	260001177
開催日	令和8年7月4日(土)		
時 間	開 始	15時00分	終 了 17時00分
場所・配信	(所在地) リップルスクエア アーバンネット名古屋ビル 20F		
テーマ	化学免疫部門の教育・運用について考える		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	春日井市民病院 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院		伊藤 彰吾技師 神宮司 帆乃香技師
講 師	1. 「新人教育について ～当院での教育～」 春日井市民病院 衛藤 麻理子技師 2. 「スキルアップを目指して ～資格と教育～」 愛知医科大学病院 森部 龍一技師 3. 「検体と精度管理の対応について ～当院での運用～」 藤田医科大学病院 藤田 裕佳技師		
内 容	本研究会では、臨床検査の各分野で実施されている教育の中でも、生化学・免疫部門に焦点を当て、教育体制や運用の実際について講演を行いました。 講演1：生化学部門での教育方法、新人からのメンター制度、面接指導など教育全般についてご講演いただいた。また研究班施設からの事前アンケートも報告し、研究会全体で共有しました。 講演2：生化学部門に配属された際、取得すると活用できる資格について、教育方法も併せてご講演いただいた。また自施設の資格支援内容、運用についてもご説明いただいた。 講演3：精度管理について、ISO15189の運用に基づきながら対応方法についてご講演していただいた。また検体対応では、施設の機器紹介もしつつ普段から実施している実務についてご説明いただいた。		
参加者	合計：52名（会員44名、県外会員0名、講師3名、実務委員5名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名）事前参加申込数：45名		
共催、後援など	無し		

合計：現地開催（講師・実務委員・参加者）、
ライブ・オンデマンド配信（講師・実務委員・レポート提出者）